



パーソンセンタード&体験的アプローチ (PC/EA)セッションゼブン

NPO CESC“学び場”では、人間性心理学・ロジャーズを初めとする PCA 理論を学びの中心としてきました。いつ頃からでしょうか、ロジャーズ理論は態度条件を習得することが困難であるとの諦めに似た境地在が広がり、また、重篤な障害には適さないとの雰囲気脇に置かれてきたようです。

しかし、それは誤解であり、正しい技能が伝わっていなかったからです。

主だった理論技法が出そろった感がある“今”効果研究からもロジャーズの態度条件が有効であることが見直され、必要であると再確認されつつあります。

特に、このコロナ禍以後の“答えの出ない悩み”や“人生の再構築の相談”には、PC/EA の考え方が最適です。対人援助に携わる人にも、日常生活において良好な人間関係を創ることにも有用な考え方は。

ロジャーズ他人間性心理学の人間観“人は自分の持てる力を十分に発揮しようとする傾向を持っている”は、人に関わるとき勇気を与えてくれます。共に、学び、援助力アップを目指しましょう。

S1	5/23(日) 13:00~17:00	飯長喜一郎	「来談者中心療法の理論と実際」	本講では、来談者中心療法の理論と実際について、初歩からお話しします。C.R.ロジャーズのたどった道を共に歩み、現在の PCA に至る発展を解説します。また、これからの来談者中心療法の可能性について考えます。
S2	6/13(日) 13:00~17:00	諸富 祥彦	「PCA の独自性と専門性・傾聴とは」	ロジャーズの傾聴とほかの傾聴は何が違うのか。PCA の独自性はどこにあるのか。PCA のアイデンティティはどこにあるのかを考えます。
S3	7/18(日) 13:00~17:00	清水 幹夫	「ロジャーズの仕事と人生」	ロジャーズの人生を辿りながら、1945 年以降 1987 年までの彼の主要な実証研究、理論、活動についてお話をさせていただきます。ロジャーズは、膨大な仕事をしてきていますので、心理臨床の分野に大きな影響を与えた、あるいは与え続けている仕事を主に取り上げたいと思っています。
S4	9/12(日) 13:00~17:00	小林 孝雄	「来談者中心療法における“共感的理解”とは」	「治療的人格変化のための必要十分条件」の一つとして知られる「共感的(感情移入的)理解」について、ロジャーズ理論全体の中に位置づけながら、その意味やセラピーでの役割を理解することを試みます。
S5	10/10(日) 13:00~17:00	岡村 達也	「一致 ロジャーズにおける展開と心理療法における位置」	ロジャーズの治療条件に関する古典ワイアット編『一致』(2001 年)と、治療関係研究の古典ノークロス&ランバート編『効果的な治療関係 3 版』(2019 年)に取材して、一致について考えます。
S6	11/14(日) 13:00~17:00	末武 康弘	「ロジャーズ～ジェンドリンへその異同」	クリエイティブ・ペアとしてのロジャーズとジェンドリン。PC/EA を牽引した2人の大きく重なる共通点と、小さいけれども精緻で重要な相違点を明らかにします。あわせて PC/EA のこれからについても展望します。
S7	12/12(日) 13:00~17:00	中田 行重	「PCA のスーパーバイズ」	PCA の立場でセラピーや対人支援を行っている方の実際のケースについてスーパービジョンを行います。提示されたケースを聴く側の中に起こる感覚や連想で考える方法を学んで欲しいと思います。2 名の発表者を募集します。資料は必要ありません。

【対象】PC/EA を学びたい方・心理学部生・院生(社会人学生除) 【会場】Zoom 会議室

【受講料】一般:55,000 円 学部生・院生(社会人学生除):33,000 円

会員:46,200 円+年会費 3,000 円

【申込】<https://www.npo-cesc.or.jp>の申込フォーム、右の QR コードから。

※受講料は、すべて消費税込表示です。

※申込受理後、受講料納入案内(詳細記載)メールを返信いたします。





パーソンセンタード&体験的アプローチ (PC/EA)ワークショップ

WS ①	7/4(日) 10:00~17:00	岩壁 茂	「エモーション・フォーカ スト・セラピー(EFT) 基礎理論」	EFT は、ロジャーズの考え方を現代の認知心理学、情動神経科学、アタッチメント、感情心理学などと照らし合わせることによって発展した統合的なアプローチです。基本をしっかり学びます。
WS ②	9/20(月祝) 10:00~17:00	池見 陽	「池見陽と学ぶフォー カシング」	体験過程理論(現象学・解釈学・メタファ理論)についてペアワークを含めてわかりやすく提示していきます。今のところ「アニクロ」を予定しています。
WS ③	★11/7(日) 10:00~17:00	野島一彦	「エンカウンター・グルー プのファシリテーション 実習」★リアル研修	EG がわが国に導入されてから半世紀。この間にその理論と実践は独自の発展を続けています。グループの要である技能を体験的に学び、身に付けることを目指します。

【対 象】 PC/EA を集中的に学びたい方 心理学部生・院生(社会人学生除) 【会 場】 CESC Zoom 会議室

【受講料】 ①②一 般:1 研修 11,000 円 ①②学部生・院生(社会人学生除):5,000 円

①②会 員:1 研修 8,000 円(2021 年度 NPO CESC 年会費 3,000 円納入者)

③会員限定:10,000 円(リアル研修 定員:18 名)

【申 込】 <https://www.npo-cesc.or.jp>の申込フォーム、右の QR コードから。

※申込受理後、受講料納入案内(詳細記載)メールを返信いたします。



講 師	略 歴
飯長喜一郎	日本女子大学名誉教授 東京大学大学院教育学研究科博士課程単位取得満期退学。お茶の水女子大学、日本女子大学教授歴任、国際医療福祉大学特任教授。「家庭教育研究委員会」創設メンバーの一人。『私とパーソンセンタード・アプローチ』編者 新曜社、2019
諸富 祥彦	明治大学文学部教授。 筑波大学人間学類、同大学院博士課程修了。英国イーストアングリア大学、米国トランスパーソナル心理学研究所客員研究員、千葉大学助教授。『カール・ロジャーズ』角川選書 2021
清水 幹夫	法政大学名誉教授 東京農業大学農工学科卒業。青山学院大学大学院文学研究科心理学専攻修了。千葉大学教育学部教授を経て法政大学教授。『心理臨床への多元的アプローチ-効果的なセラピーの目標・課題・方法』監訳、岩崎学術出版社 2015
小林 孝雄	文教大学人間科学部心理学科教授。 東京大学教育学研究科総合教育科学専攻博士中退。東東京大学学生相談所助手(専任相談員)、学習院大学文学部心理学科客員研究員『カウンセリングのエチュード』-反射・共感・構成主義 岡村達也・小林孝雄・菅村玄二著遠見書房
岡村 達也	文教大学人間科学部心理学科教授。 東京大学教育学部教育心理学科卒業。東京大学大学院教育学研究科教育心理学専攻第1種博士課程中退。専修大学文学部心理学科助教授。『カウンセリングの条件—クライアント中心療法の立場から』日本評論社、2007
末武 康弘	法政大学教授 筑波大学大学院教育学研究科教育学専攻博士後期単位取得満期退学。法政大学教授、法政大学大学院人間社会研究科長 法政大学現代福祉学部長 『心理学的支援法:カウンセリングと心理療法の基礎』誠信書房、2018
中田 行重	関西大学文学部臨床心理専門職大学院教授。 九州大学教育学部教育学研究科、フルブライト奨学生で University of Southern Mississippi 留学、同研究科博士後期課程を単位取得退学。下関市立大学、東亜大学を経て現職。『新しい事例検討法 PCAGIP』村山正治 中田行重 著 創元社 2012
岩壁 茂	御茶の水女子大学教授。 早稲田大学政治経済学部経済学科卒業。カナダマギル大学大学院でカウンセリング心理学の博士号を取得。お茶の水女子大学着任。『新世紀うつ病治療・支援論—うつに対する統合アプローチ』金剛出版 共編著 2011
池見 陽	関西大学大学院心理学研究科教授 神戸のインタナショナルスクール出身。ボストン・カレッジ卒業。シカゴ大学大学院でユージン・ジェンドリン教授に学ぶ。産業医科大学で医学博士。『バンヤンの木の下で:不良外人と心理療法家のストーリー』木立の文庫 共著 2020
野島 一彦	跡見学園女子大学心理学部教授・心理学部長 九州大学名誉教授 九州大学大学院教育学研究科教育心理学専攻博士課程単位取得後退学。九州大学大学院人間環境学研究院教授、跡見学園女子大学心理学部教授。『エンカウンター・グループのファシリテーション』ナカニシヤ出版、2000